

吉田筑三会長のご逝去
（これまでの功績に感謝）



福岡県退職公務員連盟、吉田筑三会長が、平成28年9月19日ご逝去されました。81歳でした。生前の数々のご功績に対し、深く感謝の意を表すとともに、御霊のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

油山火葬場は涙に濡れました

会長の通夜、葬儀に際しまして、心温まるご芳情を頂きありがとうございました。会長亡き後も、皆様方よろしくお願ひ申し上げます。事務局長 稲田 瑞穂

巨星墜つ 飯塚支部 支部長 吉松 利文

訃報に接した時、驚愕あるのみでした。県事務局長としての10年間は水落前会長への見事な補佐でした。そして会長としての5年間は稲田事務局長の補佐のよろしきを得て本会の再構築を図っておられました。会員の漸減対策に鋭意ご努力されておられただけに残念でなりません。私、支部長として9年の

熱意の人 浮羽支部 支部長 坂手 進

突然の訃報が信じられませんでした。通夜には行けませんでしたが、葬儀に参列して事実を確認し、無念の思いを推量しました。15年間という長い期間、活動の推進に尽力されてきたことを改めて確認したことでした。東京での全国大会、議員会館、国会議事堂、日比谷へと福岡会館

吉田筑三先生の思い出 糟屋支部 支部長 恵良 周司

退公連糟屋支部は、本年度の福岡日地区研修会・懇親会の開催当番支部になり、10月27日（木）を予定日にして、そこに県連から吉田会長を来賓としてお越しいただいて、大切にかつ楽しいひとときをとともに過ごそうと企画準備をしていました。もちろん会長とは事前に期日調整をし、手帳に記していたのでありました。いよいよ研修会の開催期日が迫

温和な笑み 早良区支部 支部長 石橋 正隆

吉田会長は、支部にあっては班長として活躍されました。会員の世話、手助け等、温和な人柄がみんなを引き付けました。中でも、退公連の存在意義や年金問題の現状等については事あるごとに熱心に話をされました。

信念に生きろ 理事 光澤 なみほ

吉田筑三会長のご逝去の報は信じられない驚きでした。事務局長から会長へと県連の仕事を引き継ぎ、退公連の発展に意欲を燃やしておられました。「数は力なり」の信念のもと、会員数の維持に配慮し、減少には特に心を砕いておられました。会員数0名の支部の報告が来ても再び立ち上げることは難しいので次期入会

国会への熱い陳情 小倉支部 支部長 岩谷 武利

妙法寺でのご葬儀で吉田会長のご遺影をじっと見つめていました。若々しい情熱をたぎらせ、積極的に取り組んでいく姿勢にいつも感心していました。特に、東京の議員宿舎で議員さんや秘書の方々から私たちが退公連の切実な願いを陳情するお姿、諸会議で

酒杯の友 理事 松田 博直

私は、吉田会長とおよそ14年間の付き合いでしたので、気の置けない間柄でした。それだけに、このたびの訃報は今も信じられない気持ちです。会議の後には必ずといえるほど酒を飲み、私は悩みを打ち明けたものでした。その時は、会長はいつも自分のことのように聞いてくださいました。私



西区支部
支部長 松元 憲治

積極的な協力で楽しく活動

本支部は小呂、玄界、能古の3島を合わせ、海山に囲まれ、自然豊かな地である。退公連単位組織を小学校区で構成している。校区ごとに班長を置き、年3回の役員、班長会（決定機関）で事務局と会員間の連携を図っている。会員、班長の高齢化の中で活動が厳しくなってきたが、班長、事務局員の積極的な協力があり、運営できている。特記すべきものはないが、主な

- ・ 5月5日 支部総会（会場借用上、変更なし）
- ・ 5月下旬 第1回役員・班長会（会員集約、会費徴収）
- ・ 9月上旬 第2回役員・班長会（敬老行事、研修旅行計画）
- ・ 10月～11月 研修旅行（1日バスハイク）
- ・ 11月～2月（随時）広報委員会
- ・ 3月1日 会誌（コミニ）

ス）発行
3月下旬 第3回役員・班長会（決算、次年度総会計画）
10年前には200名を越していた会員数が本年度は100名を切ったが、現会員で楽しく活動している。



直方支部
事務局長 西河 武

退公連盟直方支部の現状

直方支部は現在約150名の会員で、他支部同様会員の現象に歯止めがかからず、苦勞しています。諸會議で増員支部の苦勞を聞きながら、当支部に当てはまる事例を考慮しながら奮闘しています。
残念ながら、新規会員の

獲得はならず、死亡者の家族の勧誘に精一杯の現状です。原因の1つは、班長さんの高齢化で、若い会員の加入が見込まれず、新聞配達にも支障が出ています。郵送会員の増加で、会員とのコミュニケーションが十分にとれず、次第に疎遠になって

います。
しかしながら、定期的な役員会や、新規加入の名簿のない中での情報交換、退職校長会との連携を考慮しながら情報を集めています。
前支部長さんの文化的行事の主催等々徹々たるものですが、現状維持に努めています。今後の課題として、親睦会の実施、支部使用の充実を図りながら班長さん、役員一同頑張っています。



豊前・築上支部
支部長 松本 渡支雄

支部の現状と今後の課題

支部長を担当してわずか1年の経過ではその実績も限られていますが、当支部の現状について報告いたします。
まず、3月は役員会を開催し、新年度総会に備えるの事業報告、全計画案、会計決算、全予算案、監査報告による審査、協議です。
5月は「班長」「女性部長」の合同会議では、総会行事並びに諸々の調査文書、敬老表彰対象者等々の調査依頼です。7月の班長会では、報告文書の提出、会費納入です。9月は敬老表彰者への記念品渡しと、中旬の班長が対象の研修会では、支部会員の組織確保について、班ごとの取り組みの情報交換を行いました。班長さんからの情報として「班ごとの懇談会を取り入れて実践する」「会員の対象に教職員以外の方への働きかけ」「豊前・築上支部の「種」をまけ」等々が提案され、より厳しい課題として受け止めました。次に（3月分の実践で既述の通り）3月役員会は、

事業報告、全計画案と会計決算、全予算案および監査報告の審議です。以上が本年度の事業実績です。
次に、当支部最大の課題は、年々減少傾向にある会員の「勧誘」に努める具体的な対策が急務です。班長会

の意見を重く受け止め、未加入の退職公務員の方々に「退公連の組織とは、目的とは、活動内容とは、入会後のメリット」等を記載した資料を準備して理解を求め行動を起こし一歩一歩前進したいと考えています。
以上が当支部の現状と課題ですが、これまでの取り組みを反省し、支部の実態を考慮し、これからの着実な歩みを目指して努力いたします覚悟です。



筑紫南支部
支部長 篠倉 邦男

講話を聞いて情報収集

筑紫南支部支部長の篠倉です。退公連の筑紫地区支部は南と北に分かれています。
筑紫南は太宰府市と筑紫野市の会員で組織され、筑紫北は大野城市、春日市、那珂川町の会員で組織されてきました。ところが数年前に大野城市と春日市の退公連が活動を止め、解散してしまいました。解散する時に、退公連に残留する希望者が筑紫南支部に入りました。現在、筑紫北

支部は那珂川町だけになっています。筑紫南は筑紫野市、太宰府市に大野城市と春日市の会員が参加しています。筑紫南の会員数は106名です。当支部も会員数が毎年減少しています。喫緊の課題は新会員の確保です。支部を挙げて努力していますが、なかなか難しいのが現状です。支部活動としては特別な活動はありません。定期総会と年2回の合同役員会、年1回の研修旅行を実施していま

女性部 中央区支部



中央区支部
女性部長 諸岡 春恵

会員相互の絆を深める

活動を目指して

中央区女性部の主な活動内容は、秋の1日研修の企画運営と敬老の日に敬老該当者に渡す記念品づくりです。

1日研修については、バスハイク、バスツアー、秋の1日レク等ネーミングの変遷がありました。郷土の自然環境や文化施設等を見学して教養を高め、会食しながら会員相互の親睦を深めています。平成20年までは先輩の創意工夫と協力企業（田崎真珠）の支援協力により、会員数の少ない博多区支部と合同で約10年間充実した研修ができました。例えば門司港レトロ、柳川川下り、キリンビール工場、サッポロビール工場、花どんたく、原鶴温泉、古湯吉花亭、高取邸見学等、思い出されます。

その後、企業による協力が困難となり、現在は中央区単独で交通費のかからない現地集合として、



進み会員激減の現実を見据え、できることをできる範囲で活動していきたいと思

います。

能古島、動植物園、福岡市博物館、NHK放送局見学を実施してきました。今年はおープンバスで市内観光を計画しています。会費は個人負担です。

敬老の日には特注の栄太郎飴と手づくりのプレゼント、近年は牛乳パックを利用して作った六角柱の小物入れに「いつまでもお元気で長生きしてください」とメッセージカードを添えて、各班長さんが敬老該当者に届け、喜ばれています。

数年前までは、女性会員も元氣だったので手づくりのプレゼントを用意して施設の誕生会に参加していたボランティア活動も今となつては昔話となりました。

今後は、さらに高齢化が

女性部 田川市支部



田川市支部
女性部長 皆川 待子

気軽に参加され、楽しく

活動できる研修会を

田川市支部の女性部長となり、半年が過ぎました。その間、先輩の元女性部長とお話しする中で、女性部の方の高齢化が進みつつあることや、ご家庭の事情や体調が優れない等の理由から、研修会に参加される方が少し

つ減少している状況がみえてきました。女性部の方が「参加してみようかな」と思えるような魅力のある取り組みの必要性を感じました。

そこで今後は、女性部の方が気軽に参加され、楽しく活動できる研修会を目

す。ただ、筑紫南支部には元県連会長の水落先生がご健在です。私たちは総会をはじめ、いろんな会合で必ず先生の講話を聞いています。先生は今も日公連と活

発に情報交換をされていて豊富な資料と情報をお持ちです。各支部の皆さんにも、年金学習会に先生のご講話をお勧めいたします。

指していきたいと考えています。その一環として、本年度は3月初旬に午後の時間を使って短時間で楽しく作品づくりができる、紙粘土を使った「メッセージスタンドづくり」を計画しています。1人でも

多くの方に参加していただき、作品づくりやティータイムを通してお互いに楽しく交流しながら「次回も参加したいね」と思っていただけのような研修会を実施していけたらと思っています。

米寿のお礼

筑紫南支部 福成 和敏

紅葉の季節とはいえ、今までにない台風の影響によって、あいにくさまよえる季節となりました。にもかかわらず、皆様方にはご公務にご専念にてご多忙のところ、米寿のお祝いまで、お気を遣っていただき、ただただ感謝に耐えられません。ありがとうございました。

改めて人生を振り返ってみますと、昭和28年4月太宰府小学校に

赴任して以来、幾多の人生の並木道を乗り越えて定年退職に至るまで40年近く勤務し、その後、各市教育委員会に5年間お世話になりました。80数年、走馬燈のように流れる世の中をよくも生き抜いてきたものだと思ながら感心しています。「人生80、功無きを恥ず」の役立たずの道を歩いてきましたが、まさか皆様方からお忘れもなく、祝いの記念品をいただくなんて

恐縮いたしています。本当に大変なエネルギーを費やされたことでしょう。私事で申し訳ありませんが、長年の連れあいの看病もかいたく世界いたしました。26年、27年と続き腎臓、胃癌、大腿骨骨折と自分の病に悩まされました。どうか一命は取り留め、現在、透析、リハビリ、投薬治療にて療養中です。早々にお伺いして拝眉の上、お礼を述べなければならぬところですが、まずは書面をもちまして感謝の気持ちとともにお礼を申し上げます。

だきます。本当にありがとうございます。皆様、県退職公務員連盟の一員として何一つ役に立つことができず、多大な功績もなく、記念品をいただくことが恥ずかしい気がいたします。今のところ、与えられた病気の治療に精いっぱい励んでいるところです。

今後ともよろしくご指導、ご鞭撻のほどをお願いいたします。退職公務員連盟のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。お礼の言葉といたします。皆様方によるしくお伝えください。

参加報告

日本退職公務員連盟 平成28年度 全国大会



【左から】戸畑支部 石井 靖子/戸畑支部 松村 佐和子/柳川・みやま支部 武藤 純/筑紫南支部 支部長 篠倉 邦男/県退公連 事務局長 稲田 瑞穂/中央区支部 支部長 柴田 茂行/田川支部 支部長 道 富雄

真価が問われる退公連

中央区支部 支部長 柴田 茂行

10月20日(木)、衆議院第一会館にて三原議員秘書の中村氏の案内で福岡県選出の議員11名の事務所を回り「年金問題や医療、介護」等について特段のご配慮を要望した。その後、国会議事堂内を見学。朝からご多忙の中を我々のためにご尽力いただいた中村氏に心からのお礼を言いつて、全国大会会場の東大安田講堂へ。

広い講堂は全国からの会員1000名で満席。多数の国会議員や来賓が

日公連全国大会に参加して

柳川・みやま支部 武藤 純

10月20日午後1時より、東京大学「安田講堂」を会場にして開催された本大会に、県代表7名の中の1人として初めて参加させていただきました。全国より集結した会員の皆さんで会場は埋め尽くされ、また多数の国会議員を来賓に迎えての熱気あふれたものでした。昨今の私たち年金生活者を取りまく厳しい情勢の中で開かれた大会でしたが、公務員として現職時から今日まで一貫して地域社会の奉仕者とし、その存在感を示してきている会員の生活を保障する社会を堅持

見守る中、津島会長の力強い所信表明があった。「少子高齢化の難題をどのように受け止め、乗り切っていくのか。そして、何を残すべきか」改めて私たち退公連に問いかけられた言葉である。

年金制度自体の維持ができるのか？退公連だけの活動でいいのか。いや、国民的課題であることを痛感した全国大会であった。



全国大会に参加して

組織強化へのさらなる推進を

10月19日(水)、県本部の稲田事務局長、支部代表合わせて6名が、宿舎のホテル・ルポール麹町に集合。情報交換会では、福岡県選出の国会議員や秘書の方々の表敬訪問を受け、退公連の重さを感じました。

翌日の午前、衆議院議員会館で本県出身の国会議員へ陳情・懇願を行いました。議員や秘書の方々が真剣に対応してくださり、心

戸畑支部 松村 佐和子

強く感じました。その後、1時間かけて国会議事堂内の見学をして昼食をとりました。

午後、全国大会が東大安田講堂で盛大に開催され、国会議員の方々も多数来賓として参加されました。表彰式では、沖縄(3年連続会員増)、山形(4年連続会員増)が組織表彰されたのは驚きでした。その秘訣を学びたいと思いました。

この2日間を通して日公連の存在の大きさを感じ、組織強化のさらなる推進に尽力したいと思いました。

最後に、女性の会員もたくさんおられる本会です。今後は一人でも多くの女性の参加をおすすめします。

さらに、初参加で不安でしたが、稲田事務局長の行き届いた温かいお世話で有意義な参加ができました。心からお礼申し上げます。

全国大会参加の旅費節約について

筑紫南支部 支部長 篠倉 邦男

全国大会に参加しましたが、誠に残念だったのは直前に吉田前会長がご逝去されたことです。謹んでご冥福をお祈りいたします。

大会参加の感想は他の参加者にお任せして、私は旅費節約についてお話しします。航空機利用のシニアサービスです。大会前の打ち合わせ会議で参加者に説

明していましたがごなにも利用されていませんでした。シニアサービスとは65歳以上であれば日本全国、北海道、沖縄などどこでも一律1万6290円で行けることです。ただし、予約ができません。旅行当日、搭乗手続きの時点で空席があれば搭乗できます。しかし、空席待ちではありません。

今回、早得で往復航空券を購入された方がありました。私の変更ができません。私は大会終了後、羽田に直行して一番早い便で帰りました。